

42 ウズラシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Calidris acuminata

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

北極シベリアで繁殖し、繁殖後はニューギニア、オーストラリア、ニュージーランド、太平洋南西の諸島などに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来する。水田、埋立地、池や沼の湿泥地など内陸の湿地に生息し、甲殻類、貝類、昆虫類の幼虫などを採食する。



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州、飛鳥、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、南鳥島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、尖閣諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、伊丹市、
★豊岡市、加古川市、赤穂市、高砂市、★加西市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、★稲美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では4-5月と8-11月に記録があるが、個体数は少ない。古くから県南部では単独か数羽の群れが記録されている。しかし、多くの生息地が失われる中で減少傾向が続いている。県北部でも記録されることがある。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。草を刈り、水を入れる休耕田はこの鳥には貴重な採餌場となっている。